

# 香川大学大学院経済学研究科（修士課程）経済学専攻 学位論文審査基準及び審査体制・方法について

香川大学大学院経済学研究科の学位論文及び最終試験に関する取扱要項第5項に基づき、学位論文の審査基準及び審査体制・方法を以下のとおり定める。

## 1. 学位論文審査基準

### (1) テーマ設定

#### ① 当該分野の発展への貢献

経済学、経営学及び人文・社会諸科学分野の研究に新しい知見を提供することによって、学術的発展または実践的発展への貢献が認められること。

#### ② オリジナリティ

関連する先行研究との関係において、独創性あるいは独自性が認められること。

### (2) 研究内容とその記述

#### ① 目的の明示

研究の目的が明確に述べられており、的確な問題意識に基づいて適切な課題を設定していること。

#### ② 研究方法の妥当性

研究テーマや研究目的を達成するのにふさわしい研究方法が採られており、その研究方法が明確かつ具体的に記述されていること。

#### ③ 研究倫理

研究に係わる倫理上の問題への考慮・対応が十分であること。

#### ④ 記述法・ルール

学位論文としての体裁が整っており、表現・表記法が適切で、構成の体系性が確保されていること。なお、資料および先行研究の取扱いが適切であること。

#### ⑤ 結果の考察とまとめ

研究の目的、問題意識に照らして意味のある結果と含意を導出しており、結果および分析・考察の展開が論理的かつ説得力があること。また、研究全体の論理の一貫性が保たれていること。

### (3) 成果

#### ① 成果の水準

経済学、経営学及び人文・社会諸科学の分野において有意義な知見や発見を提供していること。

## 2. 審査体制・方法

### (1) 審査体制

学位論文の審査は、指導教員を含む研究科教授会で選出された3名の審査委員により行われる。

### (2) 審査方法

審査委員は、提出された論文につき、上記審査基準に基づき審査し、当該基準のすべての項目を満たしたものを学位論文として合格とする。